

評価者 古市 博信

評価年月日

平成31年3月13日

全般的な評価意見

創設(1976年)以来の建学の精神(知・徳・体と心身ともに調和のとれた人格を育てる)を貫き幼児教育を継続されていることは素晴らしいことです。

少子化のなかにあって、園児数が安定しているのは幼稚園の教育方針が保護者の方々に支持され高い評価を得ているからだといえます。

幼稚園が掲げている「教育目標」及び「重点目標」についての評価項目は、十分な取り組みをされています。先生方の自己目標も園児の目線に立って設定され実践されています。

開かれた園をめざすという意味では、通信(園だより、学年だより)の発行、保育参観や行事等に保護者や地域の方が参加しやすいように工夫されています。未就園児と保護者のための園開放も機会だけでなく楽しく参加できる工夫、子育てのヒントとなるような情報も提供されています。日々の保育の中で多くの先生が保護者とのコミュニケーション(話し合い・お便り)を大切にされていることは非常に良いことです。今後も開かれた園を目指し情報提供をさらに進めていっていただきたい。

安全管理面では、昨年度、危機管理マニュアルを新たに作成され、今年度は避難訓練を実施されました。その成果と課題、日常的な意識を持ち続けることの大切さを実感されたことは意義のあることです。具体的な場面(地震・火災・不審者対応など)を想定し、P(計画)D(実行)A(改善)サイクルに沿って訓練が毎年計画的に実施されることが重要です。

教育課程・指導の面では、道伯幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園ともに教職員の皆さんが日々熱心に保育指導・援助をされています。幼児一人ひとりの発達を把握し、日々の保育の中できちんと指導がなされるように話し合い、反省や見直しを行っています。逆に朝令暮改な保育は、園児の混乱と保育の質の低下を招く恐れがあります。

日々の保育計画を教職員間でしっかり話し合い、話し合ったことを実践することは組織にとってとても重要なことです。

保育参観や絵画展に参加させていただき感じる場合があります。一人ひとりの先生が一生懸命に保育をされています。こどもたちも熱心に活動にさんかしています。作品もどれも非常に良くできています。その反面、多くの先生が多忙で時間に追われているように思われます。日々の保育・学園行事等に追われ余裕がなくなっているのではないかと心配します。子どもたち一人ひとりが園生活を楽しむためには、教師も園児たちも余裕、ゆとりが必要です。

幼児教育の無償化にともなう対策、カリキュラムの精選、園行事のスリム化、人的配置など、理事長、園長、教職員で検討し、前年踏襲ではなく不意流行、改善されるべきものは改善することが必要です。

教師としての資質や能力を高めるためには、日々の取り組みのなかにおいて教師自らが具体的な目標をたてることです。目標は、園の取り組むべき内容、学年・学級の取り組むべき内容に沿って考え、評価しやすいものにするとういでしょう。道伯、みずきが丘ともに年度初めに自己目標・自己点検表を全教員が作成し、年度末に自己評価されていることはきわめて大事なことで資質向上の取り組みとして高く評価できます。ただ、個人の目標が達成できたかどうかの評価を個人だけに任せるのではなく、理事長、園長、主任等と面談をして成果と課題、今後の取り組むべき内容として把握していかないと評価の意味がありません。

園の本年度の評価目標と取り組み状況を教職員の共通理解のもとで作成し、個人の目標とも照らしあわせて具体的な成果や課題を出されたことは評価できます。自己評価公表シートと自己評価・自己点検表、関係者評価を参考に次年度の園経営、日々の保育に活かしていただきたい。

評価者 高田 直哉

評価年月日

平成31年3月5日

道伯幼稚園

・（教育課程・指導）

『園の遊具・用具等について、各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。』

各年齢に合わせ、遊具や道具の使い方を教え、楽しく活用されています。

また、園児自身または園児同士で考えて活用することにより、活発かつ積極的に体をうごかしているように見受けられます。

・（健康管理）

『日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。』

インフルエンザ・熱中症、また、今年度ははしかが流行するなど、健康管理が難しい中、手洗い・うがいなどを徹底的に取り組んでいただいています。また、各職員におかれましても、健康管理により一層気をつけていただきたいと思います。

・（安全管理）

『事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取組はなされているか。』

きっちり避難訓練も行われており、また、その練度も高まっています。実災害発生時には、想定外なことも起こりうるため、難しいとは思いますが、常日頃から意識付けを願います。

・（資質向上の取組）

『教職員が園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。』（個人）

各教員が目標設定され、各自のペースで無理なく業務を遂行していただきたい。

評価者 大久保 竜治

評価年月日

平成31年3月5日

・（教育課程・指導）

『園の遊具・用具等について、各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。』

遊び方を理解させるとともに、順番を守るといったルールも身に付けてもらいたい。

・（健康管理）

『日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。』

インフルエンザ・はしかが流行しているようなので、気を付けてください。

・（安全管理）

『事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取組はなされているか。』

様々なケースを想定した訓練をされているようですが、「慣れ」に気を付けてください。

・（資質向上の取組）

『教職員が園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。』（個人）

担当毎に目標を設定されており、努力されているようです。
自己評価を数値化してもらおうとわかりやすいと思います。

評価者 古市 隆英

評価年月日

平成31年3月29日

・（教育課程・指導）

『園の遊具・用具等について、各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。』

昨年までの内容を参考にしながら、身近な遊具・用具を工夫しながら活用し、教師も一緒に楽しむ事で、園児が使い方や楽しさを知り、より活発に意欲的に指導に取り組む工夫が成されていた。

・（健康管理）

『日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。』

年間を通して、「手洗い・うがい」や、水分補給など、健康な生活に必要な生活習慣を日常的に取り組む工夫が成され、このことにより、子ども達の意識も高まった。

・（安全管理）

『事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取組はなされているか。』

災害を想定した避難訓練などを行うことにより、園児も教職員も、緊急事態に対応できる準備が成されていた。

・（資質向上の取組）

『教職員が園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。』（個人）

各職員が、年度初めに、それぞれ担当する学年・年齢に合った園の教育目標を理解し、自己評価目標を定め、日々の保育に努め、学年末に、自ら自己反省をし、目標の達成度を自己分析し、次年度の保育の資質向上に向けた取組が成されていた。

評価者 古市 満俊

評価年月日

#####

・（教育課程・指導）

『園の遊具・用具等について、各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。』

遊具・用具等の年齢に合わせた使い方の指導と共に、その活用のルールを教え、考えさせる指導に努められている様子が伺え、感心致しました。

園の教育目標に沿った、活発な活動をされていると感じました。

・（健康管理）

『日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。』

健康診断の実施は基より、各先生方が、園児の自己管理についての指導を進めておられます。健康管理についての自己管理能力は、人生の基本かと思えます。更なる質の向上を期待します。

・（安全管理）

『事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取組はなされているか。』

避難訓練は頻繁に行われているので、職員の方も園児も、要領を得てきていると思われまし、職員の方も、反省と確認を実施されている様ですので、慣れることなく、訓練を進めて頂きたいと思えます。

園児の危険な場所、危険な遊びを認識させる教育は、素晴らしいと思えます。教育の質の向上に継続し、努力願います。

・（資質向上の取組）

『教職員が園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。』（個人）

父兄の方々とのコミュニケーションは基より、教員間の交流に努められ、学年間だけでなく、園全体で職員交流にも努力されている様ですので、問題解決や改善の方法なども単独判断でない事より、常に最善で挑める環境が出来つつあるかと感じました。

みずきが丘道伯幼稚園

・（教育課程・指導）

『園の遊具・用具等について、各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。』

遊具・用具の危険な使い方についても、細かく指導していただいています。

園児自身で考え、いろんな発想を促し、それに対して適切な指導を今後もしていただきたい。

・（健康管理）

『日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。』

手洗い・うがいが励行されており、体調管理に留意されています。

また、紙芝居などで、園児に健康について関心を持たせる取組みについても、おおいに評価できます。

・（安全管理）

『事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取組はなされているか。』

避難訓練もされており、災害についても日頃から取り組まれています。

また、危険因子についても、園児にその都度説明されていますので、継続していただきたい。

・（資質向上の取組）

『教職員が園の教育目標を理解し、それぞれに目標を設定し、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。』（個人）

各教員が目標設定され、日頃の業務をこなされています。